

1. 愛媛RWD構想について

RWD = Real World Data

❖ 目的

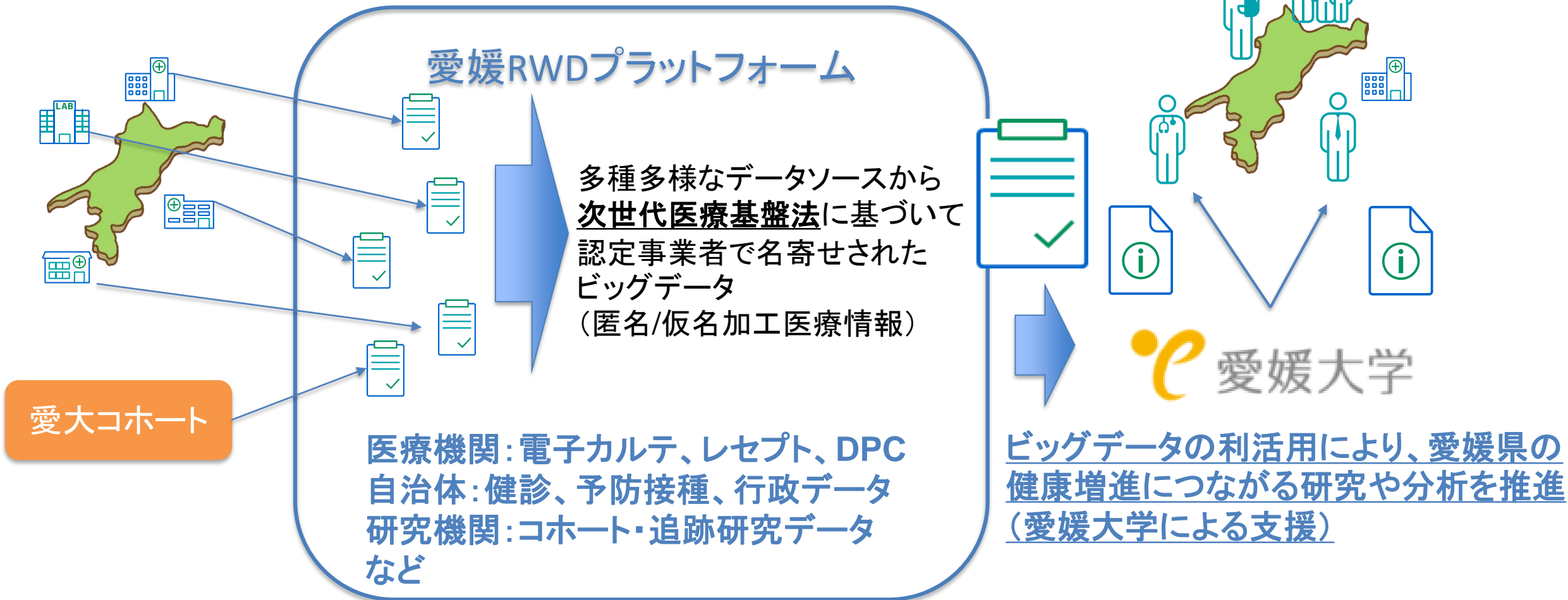
- ・ 愛媛県内のリアルワールドデータを統合したビッグデータプラットフォームを構築し、利活用を推進することにより、愛媛県民の健康増進に寄与する

❖ 概要

- ・ 県全域をカバーすることを目指す日本初のプロジェクト
- ・ 愛媛県という人口流動が少ない地域の特性を生かし、都市部と比較して安定した長期的な追跡性のあるコホートの確立が期待される
- ・ 次世代医療基盤法に基づいたオプトアウトで大規模なデータ収集と、複数の医療機関や自治体等のデータセットの名寄せを認定事業者を通じて行う
- ・ 愛媛県内の医療機関に対して、データ利活用や臨床研究などのアイディア実現を愛媛大学が支援

2. 愛媛RWDプラットフォームの特徴

プラットフォームの利活用により、愛媛県健康増進に寄与する



2. 愛媛RWDプラットフォームの特徴

愛媛RWDを使ってできることの例

- ❖ **医療データの後ろ向き解析による、新たな診療方法につながる医学的発見や医療プログラムの開発**
 - 心不全の退院後再入院リスクを上昇させる要因の探索
 - 心不全ハイリスク患者における発症リスクの要因の探索
- ❖ **開発された医療プログラムの検証、臨床研究におけるコントロール群としての活用**
 - 血液検査結果より大腸がんの発症リスクを予測するプログラムの性能検証
- ❖ **地域医療や医療経営の分析による、医療政策や経営施策の立案**
 - 全県医療データの分析を基にした、医療政策の立案
 - 病院(医療圏)内の患者動向や医療行為の実態の分析による、経営施策立案
- ❖ **医療以外のデータとの統合による、新たな研究分野の開拓**
 - 所得や職業、食生活などと健康・医療の関係性の疫学的研究